

ドローン直播の実施による労働力の削減

取組主体名：(株)アグリシップ・燕市（新潟県）

概要

- (株)アグリシップでは、水稻の湛水直播を20年前から行っており、現在、水稻16haのうち160aを直播で実施。
- また、周辺生産者から49haの播種作業を受託しており、すべて直播で実施。
- 毎年の規模拡大に伴う労働費の削減や作期分散を図るため、ドローンによる直播を3年前から実施。
- 令和3年度は、べんモリコーティング種子※1、リゾケアコーティング種子※2、鉄コーティング種子※3を用いたドローンによる直播を実施。
 - ※1 ベンガラ（酸化鉄）とモリブデン化合物等をコーティングした種子
 - ※2 過酸化カルシウムと殺虫殺菌剤をコーティングした種子（シンジェンタ社の製品）
 - ※3 鉄粉等をコーティングした種子



取組結果

- 収量は約**520kg/10a**と、直播機を用いた直播栽培と同程度を確保。
- 播種作業時間は、直播機では**10分/10a**を要していたが、ドローンを使用することで**2分/10a**に削減。

実証時期	2021年5月	
対象作物・実証面積	水稻 160a	
使用ドローン	(株)Mazex製 飛助	
使用種子	べんモリコーティング種子 (70a) リゾケアコーティング種子(50a) 鉄コーティング種子(40a)	
播種作業時間 (分/10a)	直播機	10分/10a
	ドローン	2分/10a

80%の削減効果